



ハリス世界株ファンド(毎月決算型)の 基準価額下落について

過去3週間、新型コロナウイルスの感染拡大により世界の株式市場は軟調に推移していましたが、3月11日に米国が欧州からの入国を30日間禁止すると発表したこと、世界保健機関(WHO)が新型コロナウイルスの感染について「パンデミック(世界的な大流行)とみなせると表明したことから、株式市場が更に大幅に下落する展開となりました。このような中、2020年3月13日のハリス世界株ファンド(毎月決算型)の基準価額は、前営業日(2020年3月12日)と比べ912円下落(▲11.06%)の7,333円となりました。

表① 主要各国株価指数

	3月11日	3月12日	騰落率
米国(NYダウ)	23,553.22	21,200.62	▲9.99%
スイス(SMI)	9,152.50	8,270.44	▲9.64%
ドイツ(DAX)	10,438.68	9,161.13	▲12.24%
英国(FT100)	5,876.52	5,237.48	▲10.87%

*基準価額への反映を考慮して前営業日の値を表示しています。

表② 主要通貨の対円為替レート

	3月12日	3月13日	騰落率
米ドル	104.60	105.17	0.54%
スイスフラン	111.43	111.10	▲0.30%
ユーロ	117.87	117.43	▲0.37%
英ポンド	134.14	131.56	▲1.92%

*対顧客電信売買相場仲値(TTM)を表示しています。

当ファンドは実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限につきましては、米ハリス・アソシエイツ・エル・ピー(以下「ハリス・アソシエイツ社」といいます。)に運用を委託しています。

2002年～2003年にSARS(重症急性呼吸器症候群)が蔓延したときと異なり、今日の世界はより相互依存の高い状態になっているため、グローバル株式市場全体が感情的な反応を見せています。各国政府は新型肺炎の感染拡大阻止に向けて対策を打ち出し、米国や英国など主要国では、足元の経済状況の悪化を抑制するため緊急利下げを行い、経済刺激策も打ち出しています。こうした政策は、世界経済にとって今後有効に機能すると思われれます。

現時点では入手できるデータが限られており、いつ、どのように新型コロナウイルスの問題が解決されるのかを予測するのは困難です。このような外因性のリスクに対応する状況でも、ハリス・アソシエイツ社が行うのは、長期的視点に立って計算した企業価値への影響を計測することであり、短期的なコストが永久的に続くとの前提で企業価値を計算することではありません。

これまでのところハリス・アソシエイツ社では、旅行、運輸、エネルギー関連の業種などでは一部の銘柄の企業価値を修正しましたが、その幅は株価下落率よりも遥かに小さなものとなっています。また、多くの

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2003192

銘柄において、企業価値への影響は限定的であると判断しています。株価が下落したことにより、現在当ファンドで保有する企業の株価は、ハリス・アソシエイツ社が考える企業価値に対して大きく割安度が高まっており、当ファンド全体の割安度は 2009 年の金融危機以来の魅力的な水準になっています。

現在、ハリス・アソシエイツ社では、株価の価格変動性が高まった状況を捉えて、相対的に割安度の低い銘柄を部分的に売却し、その売却代金を使って、より割安度が高い銘柄に入れ替える取引を行っています。短期的な混乱が続いていますが、ハリス・アソシエイツ社では、リスクを注視しつつ、感情に流されるような投資行動を避け、これまで同様、バリュウの哲学に則った運用を継続して行う所存です。

以上

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、当社といいます）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2003192

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 5.5%(税抜 5.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、当社といいます）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2003192